



子どもの村東北 ニュースレター

つながるしむわせ

R.Campbell



ワイワイ、ワクワク! 今年もたくさん楽しんだよ!

第13回

村からのメッセージ ごあいさつ



子どもの村東北
広報担当理事

与野 珠美

河北アド・センター勤務
(公社)日本フォークダンス
連盟公認講師

7月、夏休み最初の日曜日、子どもの村東北は元気な歓声で終日にぎやかでした。昨年に続き2回目の「子どもの村東北 夏まつり」です。屋内では世界おもしろクイズやトートバッグ作り、フェイスペイント。広い村庭ではサッカースクール、よさこい演舞、バルーンアート、フォークダンス。テントではスーパーボールすくいなどの

縁日屋台や、夏まつりに欠かせない色とりどりのかき氷、大きな口をあけてかぶりつく村スタッフ手作りのハンバーガー。盛りだくさんの内容に、来村いただいた近隣の方々も楽しんでくださったようです。

実現には驚くほど多くの方々がボランティアとして協力してくださいました。地元の町内会や企業・商店・クリニック、ジュニアリーダーやサッカークラブの小中高校生、大学生、留学生、子どもにかかわるNPO団体、社会人の趣味サークル、村スタッフの家族などなど。たくさんの方々に支えられて子どもの村があるのだなあと実感しました。若い世代が立派に活動していたのも感動しました。サッカー少年たちは早朝から大人と一緒にテント立てに汗を流し、屋台コーナーの売り子さんとしても大活躍。

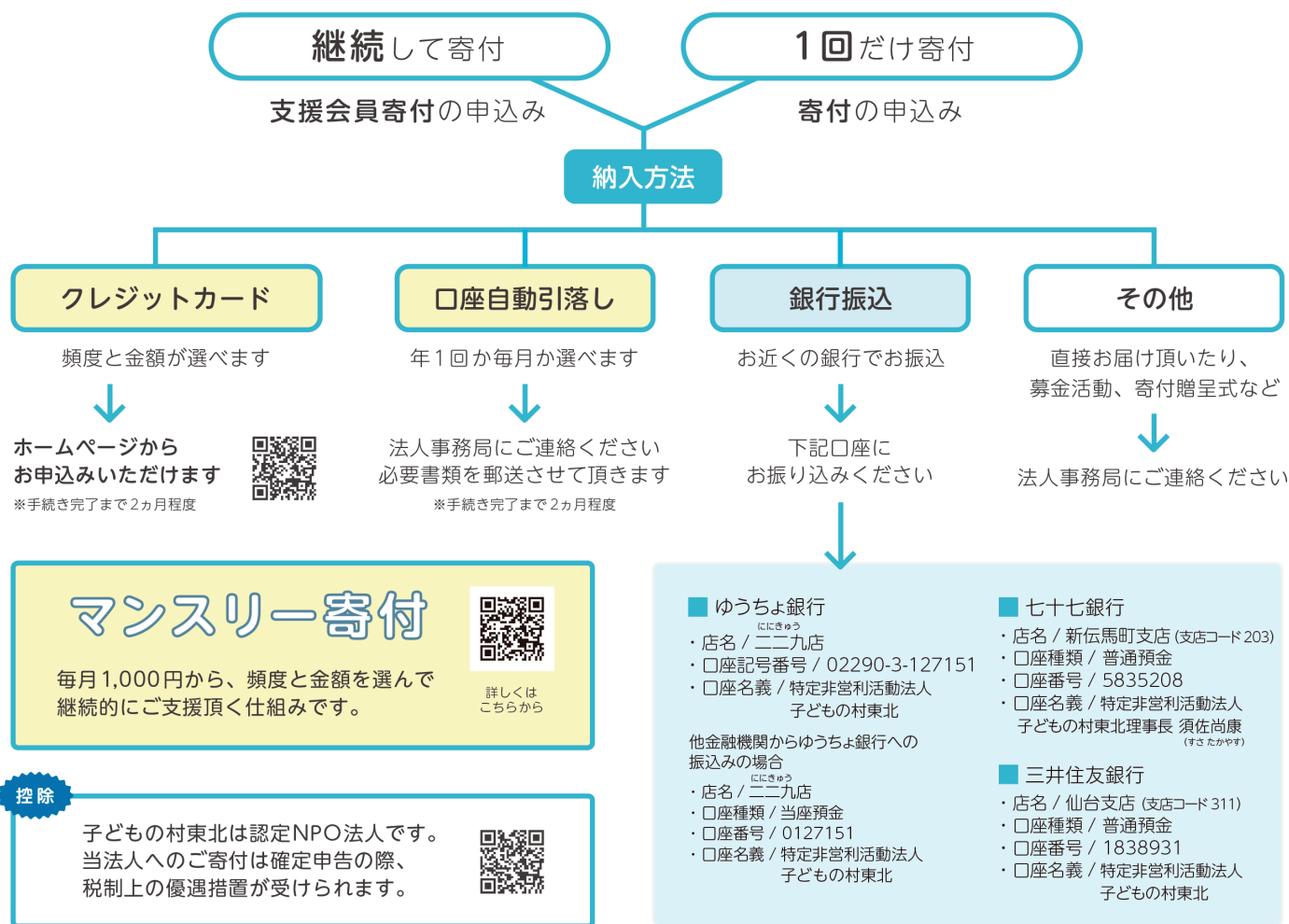
ジュニアリーダーの高校生は細長い風船をひねって動物を形作る巧みなバルーンアートで、小さい子どもたちの尊敬を集めていました。村で育親と暮らす子も、遊びに来た子も、お手伝いに来てくれた子も、一緒になって一つの祭りを楽しんでいる様子は、村の理想の姿を体現したかのようでした。

開村から10年を迎え、村はこれまでに培った組織力、整備した施設設備を、村の外で困難を抱えている親と子にも提供できるよう取り組み始めました。2024年度は子育て講座(7月、25年2月)、夏まつり(7月)、クローバーカフェ、茂庭台プレーパーク(10月)を実施しています。目下はフォークダンス要員の私も、微力ながらサポートしていきたいと思っています。

いろいろな 支援のかたち

子どもの村東北は、その多くがご寄付でまかなわれています。
ここでは、寄付や支援の方法をご紹介します。どうかご支援ご協力をよろしくお願い致します。

寄付の申込み方法



寄付以外の支援方法

遺贈

遺言により、ご自身の財産を相続人以外の特定の人や団体に分け与えること。
遺贈先として子どもの村東北をご指定頂くと子どもたちの未来に役立てることができます。

古品回収

家の中に眠る「お宝」をダンボールに入れて贈るだけで寄付ができる「お宝エイド」。
切手、ブランド品、骨董品、カメラ、楽器など、大掃除や引越しを機にぜひ検討してみてください。

募金箱・自販機の設定

ご支援を呼びかけるため、店舗レジ横や、病院や施設、会社の受付など、募金箱の設置場所を探しています。
同様に、売り上げの一部が寄付される支援自販機の設置場所も探しております。

応援グッズ

商品をご購入頂くことで、売り上げの一部が子どもの村東北に寄付されます。
楽曲 CD、ドライフルーツ、大麦グラノーラ、イノシシ革のシューズなど。

詳しくはホームページをご覧ください <https://cvtohoku.org>



子育て応援プロジェクト 2024年度子育て講座

第2回「育てにくさって…ずっと続くの？」

～ちいさなきづきからの第一歩～

2025年2月15日(土) 13:30-15:30

● 講師: 山崎 剛(やまざき たけし) 氏

公認心理師 臨床心理士

現職:公益社団法人宮城県精神保健福祉協会 「みやぎ心のケアセンター」副センター長

専門:臨床心理学、カウンセリング、元宮城県中央児童相談所所長、宮城県精神福祉保健センター、宮城県立名取病院などで心理職としてカウンセリング業務を担当

● 募集対象: 子育てに関わる全ての方

● 募集人数: 会場参加30名/オンライン参加50名

● 参加費: 無料

● 申込方法: 申し込みフォーム、または電話でも可

その他:託児をご希望の方はご相談ください

申し込みはこちら▲

<https://ws.formzu.net/dist/S32866754/>

ACTすこやか子育て講座 (全7回)

● 日時:

2025年1/25(土)キックオフミーティング、1/28(火)、2/4(火)、2/18(火)、2/25(火)、3/4(火)、3/11(火)

※天候その他の事情により日にちを変更する場合があります

各回 10:00～12:00

会場:NPO法人子どもの村東北 杜のホール

● 参加費: 無料

● ファシリテーター: 川村玲香氏、柴田理瑛氏

※託児をご希望の方は申込時にご記載ください。お受けできます

人数に限りがございますのでその点ご了承ください。

〈ACTすこやか子育て講座〉

心理の知恵を取り入れた体験型の育児講座。8つのテーマを体験的なワークを通して学んでいきます。日々の子育てにすぐ取り入れられる工夫がしてあります。参加者同士が安心と安全を感じながら、「ひとりじゃない」とかんじられるような雰囲気の中で“感じ”“学ぶ”ことができます。



申し込みはこちら▲

<https://ws.formzu.net/dist/S527546051/>

※上記の事業は、宮城県から「令和6年度宮城県NPO等による心の復興支援事業補助金」の交付を受けて実施している事業です。

子どもの村東北近況レポート

地域交流事業「子どもの村東北 夏祭り2024」: 2024年7月20日(土) 10:30～15:00

7月20日(土)子どもの村東北「夏祭り2024」は、～地域に開かれた「子どもの村東北」を目指す～の目的のもと、6つの目標を掲げて開催しました。祭りへの参加対象として茂庭台地区住民の方と地域関連事業所、子ども支援関係機関や村主催の講座参加者、その他一般に向け、チラシの配布やウェブなどで告知し、約300名の来場者がありました。祭りでは、みちのくYOSAKOI「魂響(たまゆら)」、フォークダンス、セラピードッグふれあいイベントのライブエンターテイメントをはじめ、世界おもしろ〇×クイズ、ARDORE・ヴォスクオーレ仙台・みちのく仙台FCの皆さんによるサッカースクール、大人気のフェイスペイント、トートバッグづくりとバルーンアートのワークショップと昨年よりさらに充実した内容となりました。緑日屋台も水風船やスーパーボールすくいなどで子どもたちを楽しんでもらい、とても暑い日だったため、かき氷コーナーでは氷を買い足す

ほどの売れ行きでした。フードメニューは漢方牛100%のハンバーガーとポークジンジャープレートの二種類で、ハンバーガーは早々に売り切れ、ポークジンジャープレートも売り切れとなりました。家族の家での「村カフェ」は村の活動や里親制度紹介コーナーもあり興味ある方などがコーヒーを飲みながら熱心に説明に耳を傾けてくださいました。その隣室では、小児科医による子育て相談コーナーも行いました。今年度は、協力ボランティアが95名と昨年よりさらに増え、みちのくYOSAKOI実行委員会様、みちのくYOSAKOI「魂響」様、ヴォスクオーレ仙台様等々、またARDOREからは20名以上のサッカー少年たちが応援に駆けつけてくれました。協賛、協力の団体に加えて個人の方のご支援も増え、益々子どもの村の輪が広がります。ご協力いただきました皆様に心より御礼を申し上げます。

地域交流事業「茂庭台地区市民文化祭」: 2024年10月6日(日) 10:00～15:00

10月6日(日)茂庭台地区市民文化祭が開催されました。子どもの村は昨年同様カフェと里親制度啓蒙及び村の活動紹介で出店参加しました。開催当日は雨模様でしたが、約800名の来場者があったとのこと、村カフェには10時のオープンと同時にコーヒーを求めるお客様が次々来店し、111杯を売り、当法人理事の鳴子たまごや店主から寄贈のマドレーヌとともに完売しました。午前中

は同センター内で児童館祭りも開催のため子どもたちの来場者も多く、村のフェイスペイントは今年度も変わらず大人気でした。村活動と里親制度紹介展示コーナーでは、興味ある方が40名ほど立ち寄り、熱心にお聞きくださいました。雨で気温が低いこともあり、温かいコーヒーは身体も心も温め、村の思いの温かさもきっと伝わったことと思います。

里親支援事業「クローバーカフェ」: 2024年10月13日(日) 9:30～11:30

10月13日(日)里親啓蒙と村の活動紹介のためのクローバーカフェを開催しました。今回はカフェに参加のする方のお子様や地域の子どもたちが村庭で様々な遊びを体験できる遊び場を「茂庭台プレーパーク」実行委員会の皆様に提供いただきました。参加された皆様方からは、

●里親のことを初めて知ることができた。里親をしている方々から直接話を伺い興味深かった。 ●我が子が外で自由に遊べて、親が安心してコーヒーを飲むことができるこのような環境を求めています。 ●子どもの村の活動を知ることができた。

また、ボランティアの方々からは、

●来場者に話すことで、自分の里親としての生き方を振り返る良いきっかけとなった。プレーパークの参加者からは、
●火起こしや、ペーゴマ、車輪回しなど初めてだったが楽しかった。
●自身が子どもの頃は外で遊び嫌なことも嬉しいことも体験して人との関わり方を学んだ気がします。
●子どもの遊び場が少なく、親同士の繋がりも薄くなっている。この様な機会を作ってくれて感謝。
等の感想が届き、地域の方々に喜んでいただけたことは今後の活動の励みとなります。

支援企業・団体 \ 応援 / メッセージ



国際ソロプチミスト
仙台アイリス 会長
青木 幸子 様

私たち国際ソロプチミスト仙台アイリスの活動は、今年5月で30年になりました。ソロプチミストは地域社会と世界中で、女性と女児の生活を向上させる「この理想を掲げて活動をしている女性による国際ボランティア団体です。活動を始めたばかりの頃、県立こども病院設立の運動に関わらせて頂きました。そして、「子どもの村東北」の開所にもご縁があり当時の理事長飯沼様を招いて二人でも多くの支援の輪が広がるよう宮城県ソロプチミスト7クラブ合同セミナーで講演をして頂きました。私たちの活動は、毎年300名ほどの集客をし、チャリティコンサートを開催していましたが、諸々の事情があり2019年以来今迄の場所での活動が出来なくなりました。コロナ禍で社会が変わり私たちの大切な支援をさせて頂く事業のあり方も変化し、これからの取り組みを模索しております。何とかこの活動を続けていきたいと会員一同前向きに取り組んでいきたいと考えております。

おそうじ本舗宮城オーナー会会長
おそうじ本舗泉中央
谷井 哲也 様

おそうじ本舗は、経営理念『感動を売る、満足売る』を基に、清掃サービスを提供しています。オーナー会はその経営者で構成された組織です。子どもたちが心地よい環境で過ごせるよう、清潔な空間を整えることを目指し、愛されていると感じてもらえる場所作りに寄与していきます。
コロナ禍により活動に制約がありましたが、今回で3回目の訪問になります。今後もこの理念を実践し、子どもたちに笑顔を届けるための取り組みを再開したいと考えています。
彼らの未来に少しでも貢献できるよう、引き続き努力してまいります。

ご支援いただいた企業・団体のみなさま

2024年6月1日～2024年10月31日

*敬称略・順不同

支援会員寄付

黒川こころの応援団、穴戸美香コーチングオフィス、仙台市小児科医会、東北大学小児科同窓会、予防福祉クリニック、ありま小児科医院、合資会社山久商店、株式会社仙台銘板、宮城県遊技業協同組合、宮城県小児科医会、国際ソロプチミスト仙台アイリス、晩翠画廊「貴方だけの花」展、日本インシュアランス株式会社、有限会社華丸ラーメン、株式会社ホームユニバース

一般寄付

繁昌院、株式会社藤城運輸、みちのくノルディックウォーキングネットワーク、いのうえ小児科クリニック、株式会社ワイエイロジスティクス、株式会社ワイエイサービス、NPO 法人タンデムマス・スクリーニング普及協会、SMBC 日興証券株式会社仙台支店、株式会社オムニバス、クリニック飯塚、鳴子温泉観光協会

支援会員 個人会員 719名 / 団体会員 76企業・団体 *2024年10月31日現在

本年度助成頂いている団体 宮城県 令和6年度宮城県 NPO 等による心の復興支援事業補助金

物品ご寄贈・自動販売機・募金箱の設置・チャリティー募金など、
ご協力頂いているみなさまへ、あたたかいご支援ご協力に感謝申し上げます。



認定特定非営利活動法人

子どもの村東北

資料請求・お問い合わせ / TEL:022-281-8837

WEBサイトは で検索ください。

【法人事務局】

TEL : 022-281-8837 / E-mail : info@cvtohoku.org

【子どもの村】

TEL : 022-281-9653 / E-mail : center-t@cvtohoku.org

住 所 : 〒982-0252 仙台市太白区茂庭台2丁目16-9-1

FAX : 022-281-9659

*法人事務局と子どもの村の住所・FAXは共通となります

URL : <https://cvtohoku.org/>



※当法人は認定NPO法人です。当法人へのご寄付は確定申告の際、税制上の優遇措置が受けられます。

子どもの村東北